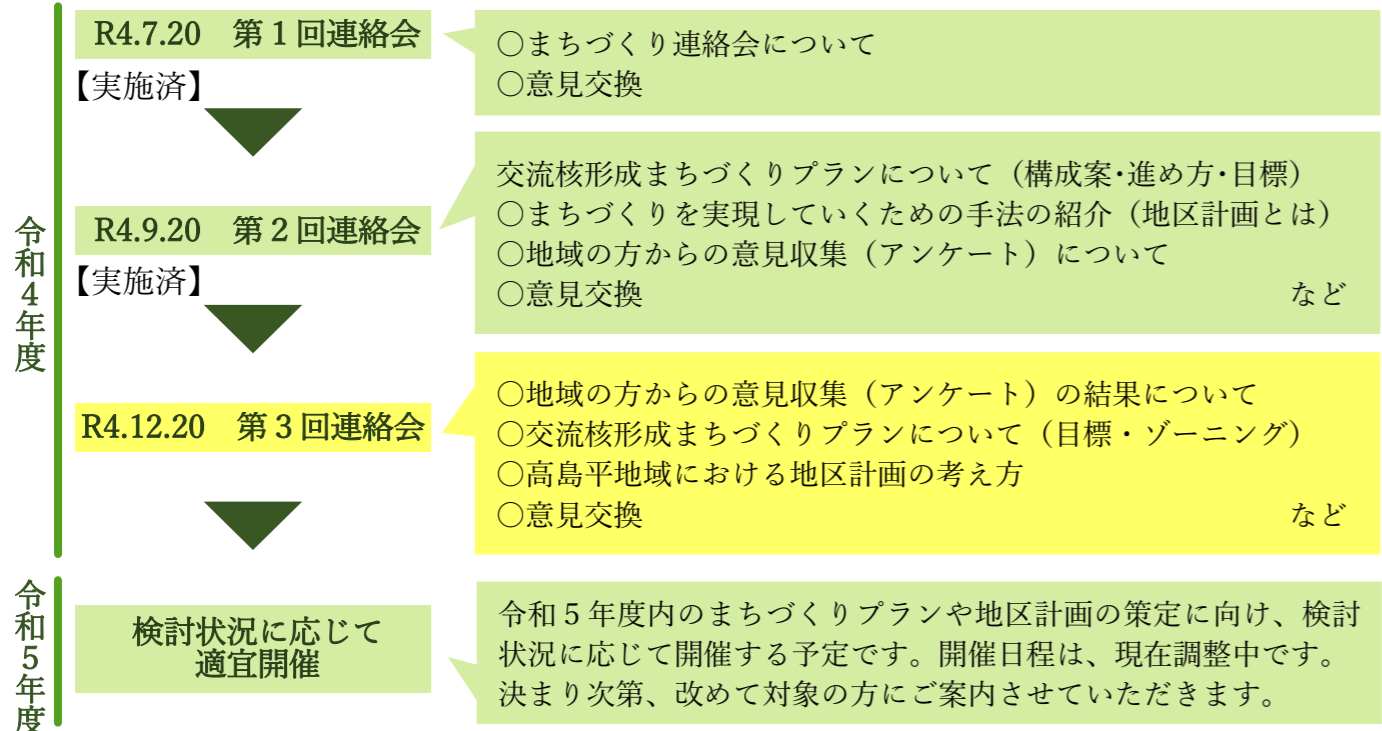


まちづくり連絡会の開催状況



板橋区からのお知らせ

【交流核形成まちづくりプラン中間まとめの策定期期について】

令和5年2月の策定を予定していた「交流核形成まちづくりプラン中間まとめ」は、策定期期を来年度以降に見直すこととしました。これに伴い、まちづくり連絡会や説明会の開催も来年度以降とさせていただきます。具体的な開催日程については、別途ご案内いたします。

【3月18日・19日に高島平緑地でイベントを開催します！】

板橋区とUR都市機構の共同で、高島平駅前等の緑地空間を活用したイベントを開催します！

地元企業や地元商店会等にもご協賛いただき、ステージでの催し、キッチンカー、次世代移動車の試乗体験、映像技術（VR等）を活用した荒川はん濫時の浸水想定体験や自動車・自転車の安全体験など、内容が盛りだくさん！

皆さま、ぜひお越しください。

日時：3月18日（土）11時から18時まで
3月19日（日）11時から16時まで

雨天中止

場所：高島平駅前及び高島平2-28-1（イーストサイド名店街）前
周辺の緑地

詳しくは板橋区のホームページをご確認ください。

こちらのQRコードからご確認くださいませ ⇒



高島平地域 まちづくりのお知らせ(かわら版)



連絡会開催報告

第3回まちづくり連絡会を開催しました！

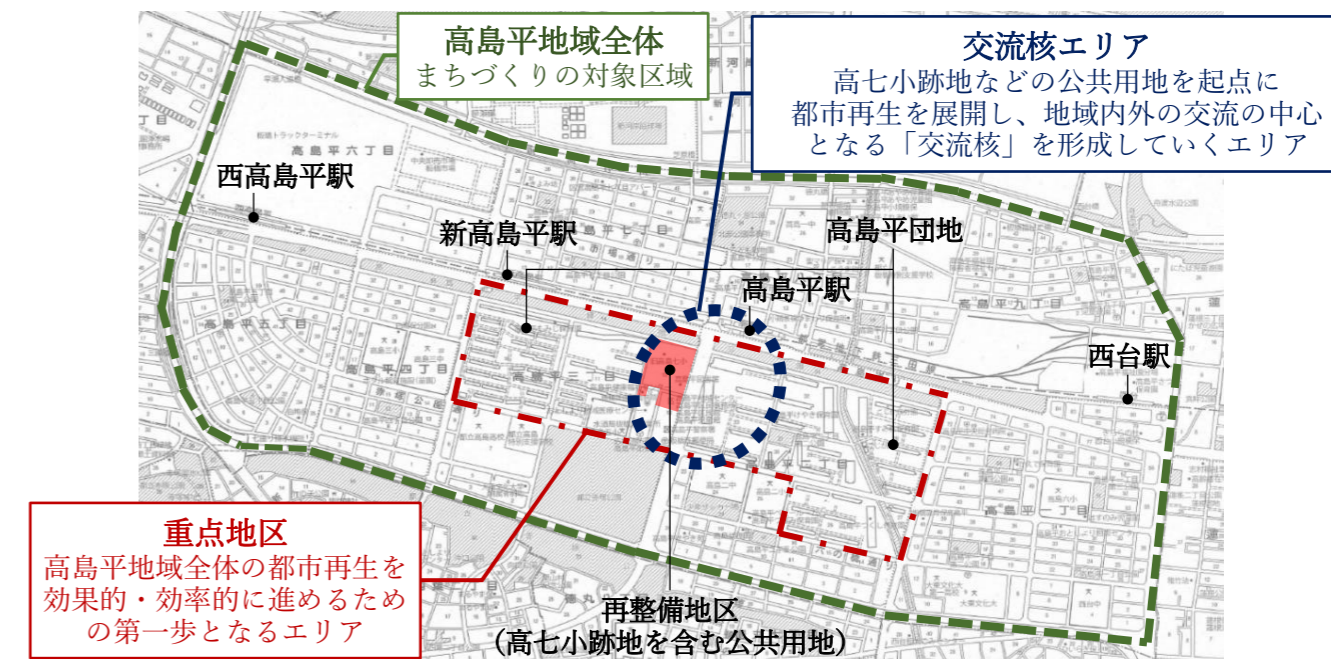
日時：令和4年12月20日（火）午後7時～午後8時30分
場所：高島平区民館ホール（高島平3-12-28）
参加者：17名



連絡会の様子

第3回連絡会では、板橋区及びUR都市機構から、「プラン検討にあたっての意見収集の結果」、「交流核形成まちづくりプランについて」、「地区計画について」の説明を行いました。まちづくりプランについては、中間まとめを令和5年2月に策定する旨を説明し、「交流核における暮らしのイメージ」（憩い、交流、飲食、買い物、移動、避難など）について意見交換を行いました。

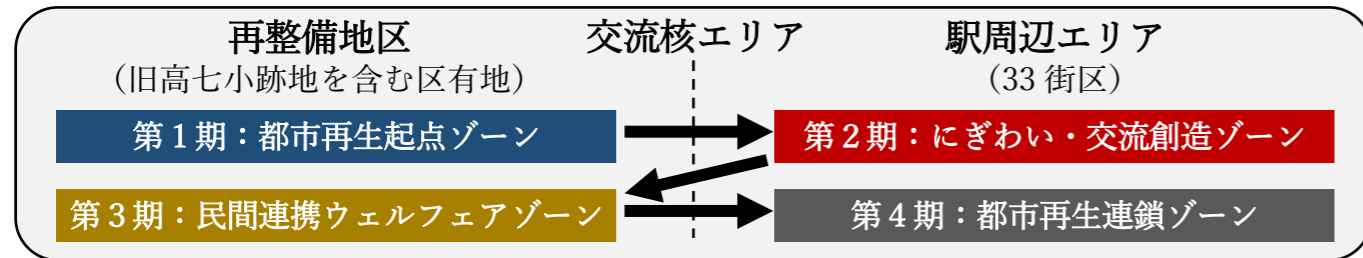
まちづくりの対象区域



交流核形成まちづくりプラン(案)について

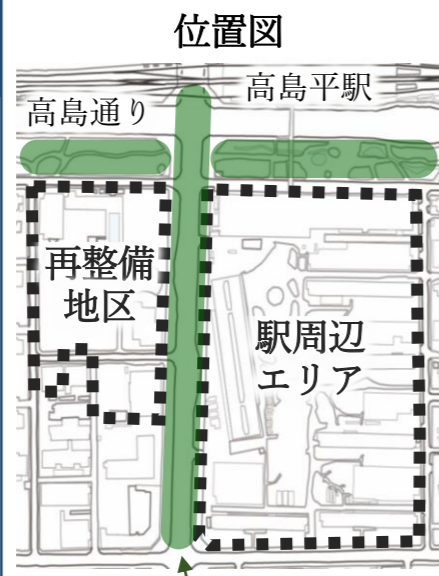
交流核のゾーニング(コンセプト・暮らしのシーン)等についてご説明しました。

地域にお住まいの方々の生活の継続性や居住の安定に配慮しながら、高経年化した施設の更新や新機能の導入を段階的に進める「連鎖的都市再生」を展開します。



**【第1期】
都市再生起点ゾーン**

- ・主に地域住民の生活の充実に資する機能を配置し、日常的な交流を創出
- ・区有地の一部交換によるUR団地再生のための住宅機能の配置、民間事業者との連携による公共施設機能の充実
- ・旧高七小の活用として、子育て機能や防災機能等の強化
- ・まちのルーツを踏まえつつ、新たなまちを感じさせる

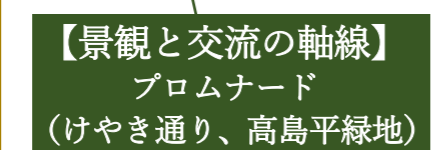


**【第2期】
にぎわい・交流創造ゾーン**

- ・地域住民の居住の安定に配慮した住宅機能を配置。
- ・交流人口の増加や地域の魅力増大に資する機能を配置し、にぎわいや地域内外の交流を創出
- ・UR都市機構所有地の一部交換及び民間事業者との連携により、商業・業務機能や知と文化の交流機能の強化

**【第3期】
民間連携ウェルフェアゾーン**

- ・民間事業者との連携による区有地活用により、主に「ウェルフェア」や「健康づくり」の面から生活の質の向上や交流創出に資する機能を配置
- ・周辺の民間施設の再生と連携した活用を検討



**【第4期】
都市再生連鎖ゾーン**

- ・連鎖的都市再生を次のステップにつなげるエリア

【交流核全体での取組】

- ・ソフトの取組を早期にスタートし、交流を創出
- ・段階に応じて、DX・ニューノーマル・ゼロカーボン等、社会情勢の変化や新技術を踏まえて取り組む
- ・道路空間と街区内部との連続性を意識し、にぎわいや回遊性を生み出すウォークアブルな歩行空間を形成
- ・高島平の特長ある景観・街並みの形成に向けて、デザインの統一性や全体の調和に配慮

地区計画について

●地区計画検討範囲

高島平地域の都市再生の起点として重点地区での取組が重要です。まちづくりを実現するための手法として重点地区での「地区計画」を段階的に検討します。

第1期(都市再生起点ゾーン)の暮らしのシーンの実現に向けて、第1期のエリアを対象に、地区整備計画(用途制限、壁面後退、高さの最高限度等の具体的なルール)を検討していきます。

第3回連絡会での主なご意見

参加者の皆様から、多様なご意見をいただきました！

「交流核」における暮らしイメージについて

「にぎわい」について、商業的なにぎわいのみならず、住民の世代循環が進むようなにぎわい(活性化)もお願いしたい

他地域からも訪れたいまちにしていく必要がある

緑地では、学生による生演奏など音楽のイベントができるとうい

住民同士が集まり、お互いに理解し歩み寄れるような場がほしい

交流核には魅力を感じるような施設があるといい

緑地などは次の世代にもつなぎたい

高島平の良いイメージを発信した方がいい

災害について

水害対策を十分に検討してほしい

災害対策については自治会や医師会、区等の連携が必要。仕組みや災害に際する拠点の整備などをきちんと示してほしい

まちがきれいになるといい

団地の中を緊急車両が通れるような整備をお願いしたい

道路の中央に交通島のようなスペースがあるといい

道路や駅の再整備を検討してもらいたい
インフラの整備が街のイメージ向上に重要

高島平の整備スケジュールについて

全体のスケジュールがわからないので、第1期は何年、第2期は何年とスケジュールを具体的に示してほしい

開発は1期、2期、3期を並行して、スピーディーに行ってほしい

整備スケジュールは早めの周知が必要である

その他

アンケート結果は、抜粋のみではなく全体を公表してほしい

これからの高島平に求める機能など

我々は介護施設がほしいなど言いたくなるが、次の世代の若い人が一緒に生活できるようなまちにしたい

従来の集会所に代わる施設が必要

町会などの会議ができる場所がほしい

みどりの重要性は不変なので、プラスアルファ(食事ができるなど)があるとよい

地域住民が行きたくなくなるような新しい医療拠点をつくり、ソフト面のサービス対応を含め充実させてほしい

ホールのような施設を整備してもらい、災害時には開放してほしい

再整備地区の建替えについては日影規制等の法規制を踏まえて取り組んでほしい